



Photo : Khaled Moaz 1848

How to narrate the urban history of Damascus? -together with Prof. Abdalrazzaq MOAZ-

ダマスカスの都市史をいかに語るか モアズ先生を囲んで

科研費新学術領域研究「西アジア地域の都市空間の重層性に関する計画論的研究」では、期間最後の研究会として、ドイツ在住のシリア人研究者アブドゥッラッザーク・モアズ先生を招聘し、近年の研究に基づきお話を伺います。モアズ先生は日本での共同研究の経験も深く、これを機会に三浦徹先生に対となる発表を、また陣内秀信先生にコメンテーターをお願いし、中東地域の都市史研究の展望を語り合う会としたいと思います。

日時：
2024年3月20日
14：00開始 17：00終了予定

場所：
筑波大学東京キャンパス 120教室
〒112-0012東京都文京区大塚3-29-1
及びZOOMオンライン（申し込み制）

プログラム：

- (1) Opening 趣旨説明
- (2) Abdalrazzaq MOAZ アブドゥッラッザーク・モアズ（独立研究者：ドイツ・ボン在住）
“Writing the urban history of the city of Damascus”
- (3) Toru MIURA 三浦徹（東洋文庫）
“Waqf and Urban Development in Damascus and the Salihyya Quarter from the 12th to the 20th Centuries”
- (4) Comments and Discussion コメントとディスカッション

コメンテーター：陣内秀信（法政大学） 司会：松原康介（筑波大学・研究代表者）

参加申し込み：matsub@sk.tsukuba.ac.jp 松原康介
s1910401@s.tsukuba.ac.jp 三重野馨

主催：科研費新学術領域研究「西アジア地域の都市空間の重層性に関する計画論的研究」（18H05449）